

奈良県 介護施設 + Safe協議会

～ 奈良県で働くすべての方の健康と安全のために～



この協議会は、奈良県内のリーディングカンパニー、関係団体、行政機関を構成員として、各業界における労働災害防止に関する情報共有、好事例の水平展開、啓発活動などを通じて、労働災害の減少を図ることを目的としています。

そもそもSAFEとは？

従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です。

Safer Action For Employees = SAFE
(セイファー アクション フォー エンプロイーズ セイフ)

本事業の背景 / 目的

近年、労働災害、特に、日常生活でも発生し得る転倒や腰痛などの災害が増加しています。背景として、産業構造の変化、成長産業における人手不足、働き方の多様化、顧客第一の文化、従業員の安全を守る視点の欠如、対策に取り組むメリットが見えないなど様々な問題があり、これまでの取組だけではこれらの災害を減少させることが難しくなっています。

働く人だけでなく、家族、事業者、地域のすべての人の幸せのために、労働災害を改めて社会問題としてとらえ、顧客も含めたステークホルダー（事業の関係者）全員で解決策を考え、取り組んで行くため、厚生労働省が立ち上げた活動体であり、全国の都道府県でも展開されています。

奈良県 介護施設 +Safe協議会ってなに！？

奈良県介護施設 + Safe協議会とは？

協議会の目的

令和5年1月に奈良県介護施設 + Safe協議会を立ち上げ、同月16日に第1回となる協議会を開催しました。

この協議会は、奈良県内の介護施設で働く人やその家族、事業者、地域のすべての人の幸せのために、労働災害を減少させるべく、様々な立場から今ある問題点や解決に向けた取組などを協議していくものです。

また、協議会で収集した情報や検討内容については、奈良県内全域で水平展開を図っていただくため、関係者に広く周知を図っていきます。

協議会メンバー

企業：奈良県内の社会福祉法人 二企業

関係団体等：社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 /

公益財団法人 介護労働安定センター 奈良支部 /

独立行政法人 労働者健康安全機構 奈良産業保健総合支援センター

行政機関：奈良県

事務局：奈良労働局 労働基準部 健康安全課

オブザーバー：奈良労働局 職業安定部 職業安定課

令和7年2月末現在 【順不同】

主な活動内容

メンバーの取組に関する情報交換

行動災害防止対策や健康づくりなどの専門家による講演

メンバー間の相互視察

行動災害防止に関する啓発資料の作成など

表彰(アワード)制度について

アワードへの応募

厚生労働省が行うもので、安全衛生活動に関して、SAFEコンソーシアムの加盟メンバーから、労働者の健康や安全の確保のための取組事例を募り、優良と認められた企業、団体、事業場等を顕彰する制度です。

SAFEコンソーシアムについて、詳しくは以下をご覧ください。



SAFEコンソーシアムとは？

SAFEコンソーシアム加盟はこちらから

設立の目的

増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生し得る転倒や腰痛などの災害）の問題を『自分ごと』としてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体等で構成した共同体のこと。

加盟のメリット

1. ロゴマークの使用やアワードによる安全衛生への取組のPR
2. 加盟メンバー間での取組事例の共有等による安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
3. 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業連携マッチング

加盟要件

「SAFEコンソーシアム」の趣旨に賛同し、コンソーシアム加盟の意思を示した団体がご加盟いただけます（加盟は無料です）。

奈良県内の加盟メンバー

令和7年2末日現在 12事業者

介護職場での労働災害を防止しましょう

介護労働者の転倒災害や腰痛が多く発生しています。
作業方法や作業環境を見直し、転倒災害や腰痛の防止に取り組みましょう。

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
- 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入
- 走らせない、急がせない仕組みづくり



職場3分
エクササイズ

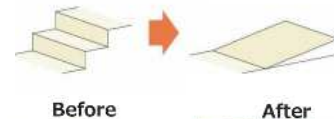


中央労働災害
防止協会
転倒予防セミナー



通路の段差につまずいて転倒

- 事業場内の通路の段差の解消、「見える化」
- 送迎先・訪問先での段差等による転倒防止の注意喚起を



設備、家具などに足を引っかけて転倒

- 設備、家具等の角の「見える化」



利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒

- 介助時の周辺動作のときも焦らず
- 介助のあとは「一呼吸置いて」から別の作業へ



コードなどにつまずいて転倒

- 労働者や利用者の転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる

「滑り」による転倒災害の原因と対策



浴室等の水場で滑って転倒

- 防滑床材の導入、摩耗している場合は施工し直す
- 滑りにくい履き物を使用させる
- 脱衣所等隣接エリアまで濡れないよう処置



こぼれていた水、洗剤、油等（人為的なもの）により滑って転倒

- 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
- （清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放）



雨で濡れた通路等で滑って転倒

- 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う
- 送迎・訪問先での濡れた場所での転倒防止の注意喚起

加齢等による転倒リスク・骨折リスク

- 一般に加齢とともに身体機能が低下し、転倒しやすくなります
「転びの予防 体力チェック」「ロコチェック」をご覧ください
- 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します
対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう
- 現役の方でも、たった一度の転倒で寝たきりになることも
「たった一度の転倒で寝たきりになることも。転倒事故の起こりやすい箇所は？」（内閣府ウェブサイト）



転びの予防
体力チェック



ロコチェック



内閣府ウェブサイト



プラス

奈良県介護施設 + Safe協議会